

*Light up!*じ た そんちよう あか
自他を尊重し、まわりを明るくする*Brush up!*しゅたいてき まな つづ じぶん
主体的に学び続け、自分をみがく

発行者 今村 貴文

ホタルの舞う里山ビオトープ プロジェクト

～生徒が作った「せせらぎ30」 感動の流水式～

「やったー!せせらぎ30に水が流れ出した。地域の人に早くホタルを見せたいなあ。」

11月8日(金)、「ホタルの舞う里山ビオトープ」プロジェクトの一環である「せせらぎ30」流水式が、本校中庭で行われました。平成21年度(宮川校長先生の時)、地域連携&環境教育の取組として、初代「ホタルの舞う里山ビオトープ」を生徒たちが制作。実際に中庭にホタルが舞ったそうです。しかし、維持は難しくビオトープは徐々に風化していきました。

時が流れ、令和5年度の市子ども議会において、生徒代表が「ホタルの舞う里山ビオトープの復活」を提言。市教育委員会の応援や宮川先生はじめ多くの地域の方々の協力のもと、生徒たちは協働してコンクリートぬりや草取りに励みました。そして今年11月、ついに「せせらぎ30」が完成しました。「せせらぎ30」とは、ビオトープの中心でホタルの生息地となる水路。七城の美しい水が流れ、水路の長さが30mなので、「せせらぎ30」と生徒が命名。)

◎流水式次第 (すべて生徒主体)

※生徒代表が来賓の皆様にプレゼンで経緯の説明

①開会 ②生徒会長あいさつ

③ビオトープチーム紹介とキャプテンあいさつ

④紅白テープカット(教育長先生、PTA 会長、生徒会長、校長)

⑤流水スタート(同時に全校生徒で RPG を合唱) ⑥教育長あいさつ ⑦閉会

七城中
ホームページ
2次元コード



流水式では、ビオトープチームを中心に全校生徒で汗を流して制作した思い出が一人一人の胸に込み上げてきて、感動的なセレモニーになりました。

キャプテンの江藤さん(3年)は言いました。「ホタルが実際に舞うまでやることはまだまだある。今日はスタートに過ぎない」と。すでに、次に向かって生徒たちを誇りに思います。

七城中生のがんばりに最高のエールを送ってくださった音光寺教育長先生はじめご来賓の皆様、ビオトープ制作にご支援いただいている皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

